

槍沢のハイ人材

者 藤 進

5月29日(土)

前夜10時すぎに車で出発、中央道諏訪サービスエリアにて仮眠し、7時すぎに上高地へ着く。

一路槍沢へ向う。一ノ俣付近までは、ほとんど平坦地なので、運動靴の陶山氏と私は足元はとても軽快だ。ガネの分だけ荷は重い、肩がいたい。なんと長平坦地歩きたと思って、よううちに、槍沢ロッジに着く。ロッジで雪の状況をたしかめ、大休止にする。

ピッケル、余分な荷をロッジにあずけ出発、約1時間で2100mの大曲付近に着く。ここからやっと雪の上になる。スキーを引っぱり約40分ほど登り2400m付近の岩の上で、そこには着く。今日はここまでとし、よいよ滑降に移る。あまり良雪質とは言えないが、待つかねた滑降に心地よい。朝から歩いた割には滑降時間が短いとボヤきながら、ロッジへもどる。

夕食を取り風呂に入り、今日の疲れをいやして。

5月30日(日)

心配した天気は晴れ、昨日大曲にスキーをデポしてくれば良かったと思ひながらロッジを出発する。雪渓を3ピックで槍の肩に着く。2400m付近からはガスが出てきた。ひばらく30分。今シーズン2度目のスキー(?)なので体が疲れます。最後の1ピックは苦しくて10分以上かかる。トレーニング不足を感じる。スキーをデポして頂上へ向う。今度は岩登りの感じになります。雪は全くな。夏だと多くの人がニンマリとニコニコだ。あれなく頂上からの展望はガスのためにまつたくなし。

肩までもどり、よいよ槍沢大滑降に移る。ガスで視界悪く。あまり落石は落ちてこない。途中、写真をとったりしながら、滑子が、約30分で大曲につかってしまう。雪の状態は、上部はまだあわびが2400m以下は水分が多くなる。スキーもあまり滑らず、ころんでもすぐ止まるので、安心して滑子これができた。斜度もそんなに急がないが、一気に滑って降りには、体力がいるようだ。足が疲れてしまうがま。やはり昨日の上高地からの歩きが原因か?

時間は早いうが、登りがえす気にもなれず

ロッジへもどることにする。途中で少し雨がふってきた。ロッジでじゅりん34工等のせんがひで読み、のんびりと過ごす。今日は我々他に1人の泊り客(か)ない。

5月31日(月)

雨もふらずなり。よか、たと思ひながら、上高地へひたすら下る。途中、ウドを取たり、歩くゴミをひき、石を持って帰る。

しかし、滑降時間の割にはアツローグの長い山行になった。あまり効率の良いところはない。スキーなど持った人が少なかった。

(齊藤)

(タイム)
5/29 上高地8:30～槍沢ロッジ12:50/2:30～2400m 3:30/55
～大曲(2100m) 4:10/25～ロッジ 5:10

5/30 ロッジ 6:10～2100m 7:11/25～2400m 8:05/15～槍の肩 10:5/20
～頂上 10:40/11:00～肩 11:20/30～2100m 12:05/30～12:50/1:05

5/31 ロッジ 6:50～上高地 11:10
(メンバー)
菅沼、作野、陶山、齊藤。

天狗岩

1982年6月27日 雨のちくもり

メンバー：菅沼、陶山、小森官、齊藤、安達、石垣、田中健、高野、今野、古川、藏田 11名

昨年同様雨の為天狗岩に変更。ザイルの結び方、三点支持確保、下降器による下降等の練習を行った。場所も狭く、ルートも少ないため効果的な練習はできなかった。

新しいブーリン結びの方法は完全にマスターしておいて下さい。(菅沼)

タイム：略